



みらい通信

第67号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所
連絡先 〒028-3318
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2
電話 019-671-2244
FAX 019-671-2243
Email miraiken@shiwa-mirai.com
発行日 平成26年 7月31日(木)

■ 日詰小学校5年生 環境学習体験

6月7日、日詰小学校において、紫波の水環境を守るため、みんなで考える場を持ちました。

地球はよく水の惑星と呼ばれていますが、その水の約97.5%は、海水。淡水は約2.5%。しかも、その淡水のうち、私たち人間が飲める水は、わずか0.01%に過ぎないということ、日本では、日常生活において1人が使う水の量が約300ℓと言われていること、生活雑排水は主に風呂・台所・洗濯などの排水であることなどを知ってもらい、その生活雑排水をあまり汚さないためにどんな工夫をしたらよいかを考えてもらいました。その後、洗剤にも気を使ってほしいことから、紫波町が進めている純石けんを使った「コネコネマイ石けんづくり」とレジ袋削減のために「世界でたったひとつのマイバッグづくり」に挑戦しました。

今後も子どもたちに、水環境の大切さを知ってもらう機会を持ちたいと考えています。



※本研究所では、子どもたちや住民を対象とした水環境・森林環境学習を体験する活動を実施しています。何でもご相談ください。

電話 671-2244 佐藤/橋浦

■ 循環型まちづくり施設見学会の開催

7月15日、紫波町が進める循環型まちづくり施設の見学会を実施しました。見学団体は、間野村自治公民館の皆さん(19人)です。

紫波町の燃えるごみ等が集められる清掃センター、畜産農家から出る排せつ物や事業系の食品残さを原料として堆肥等を製造しているエコ3センター、再生可能エネルギーを導入したラ・フランス温泉館の三か所を午前中見学しました。

自分たちの家庭から出るごみの行方を清掃センターの職員から聞き、知らないことがたくさんあったと大変熱心に聞き入っていました。皆さん、お疲れさまでした。

※今回の施設見学会は、本研究所が紫波町から委託を受け、実施している事業です。人数や見学日に制限はありますが、バスや説明は無料です。詳細を知りたい個人・団体の方は、本研究所でコーディネートしますので、遠慮なくお問い合わせください。電話 671-2244



●定例会の開催●

本研究所では、会員同士の親睦を深めるため、定例会を下記のとおり開催します。急な開催となり申し訳ありませんが、会員の皆さんの参加をお待ちしています。なお、定例会は、今後、3か月に1回開催する予定です。

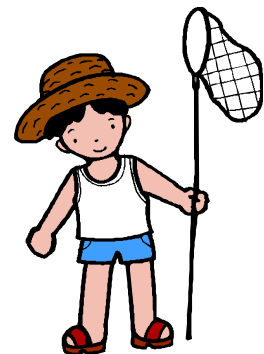
- 日 時 平成26年8月6日(水) 18:30~
- 場 所 紫波町中央公民館研修室
- 内 容 8月までの事業内容の報告(写真をたくさんお見せします)
会員同士の意見交換(※定例会や事業で実施してほしいことなど)
今後の事業の打ち合わせ 倶楽部ごとに

※今年度の定例会の予定

- 平成26年11月 5日(水) 18:30から 中央公民館予定
- 平成27年 3月 4日(水) 18:30から 中央公民館予定

●今後のスケジュール●

- 森のあそびば“りんくる”
平成26年 8月24日(日) 9:00から 紫波フルーツパーク
- しわエコ連絡会
平成26年 8月26日(火) 10:00から 環境・循環PRセンター
- しわっせ・虹の保育園子育て支援センター合同ひろば「夏祭り」
平成26年 8月28日(木) 10:00から オガール緑の大通り
- 親子で巡る紫波の農産物ツアー ジャがいも掘り体験
平成26年 8月30日(土) 9:30から
- 國學院大學里山づくりプロジェクト in 長岡
平成26年 9月12日(金)~15日(月)
- 中央大学アグリプロジェクト in 紫波町
平成26年 9月16日(火)~19日(金)
- 紫波企業の森づくり活動 とうぎんの森
平成26年 9月20日(土) 10:00から
- 親子ふれあい研修(主催:山王海土地改良区) 協力
平成26年 9月28日(日) 時間未定



【編集後記】

暑い日が続いています。そんな中、待望のオガールベースがオープンしました。

1日からオガール祭りが開催され、紫波中央駅前がおおいに賑わいます。オガールさんぽも2日3日両日10:30から15:30の間に4回開催されるとのこと。この機会にオガールをまるごと楽しんでみてはいかがでしょうか。